

平成29年度の実施状況

	対象校 (校)	開催校 数(校)	中止・ 未実施	参加人数(人) ()内は昨年度	開催割合(%)
					()内は昨年度
小学校	680	680	0	42,128 (45,738)	100 (100)
中学校	320	320	0	21,338 (24,242)	100 (100)
高等学校	128	128	0	6,218 (5,860)	100 (100)
特別支援 学校	38	38	0	2,548 (2,031)	100 (100)
義務教育 学校	2	2	0	58 (31)	100 100
計	1,168	1,168	0	72,290 (77,902)	100 (100)

※千葉市立学校を除く

◇ミニ集会で話し合われたテーマ

○学校・家庭・地域の連携について

- ・ 地域防災の推進について
- ・ 避難所の開設・運営について
- ・ 地域とともにある学校づくりについて
- ・ 地域社会と学校の交流について
- ・ あいさつと防犯
- ・ 地域行事への児童の参加の在り方について
- ・ ボランティア活動の活性化について
- ・ 地域・家庭の見守り活動の推進について
- ・ 地域教育力の活性化

○学校の運営や指導に関すること

- ・ 地域力を生かした学校づくりについて
- ・ 地域の輪を広げていじめや非行をなくそう
- ・ 地域と福祉が連携した福祉教育のあり方
- ・ 夢を育むキャリア教育について
- ・ 学力向上と学習習慣について
- ・ 小中連携教育の進め方と地域連携の在り方
- ・ ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた教育のススメ

○子育てやしつけについて

- ・ 親育について
- ・ 海外の子供たちの暮らしから子育てを考える
- ・ 中学生を持つ親の心得
- ・ 成長に応じた家庭での性教育の進め方
- ・ 子供の心とからだの健康について
- ・ 放課後の子供の居場所と地域の連携について
- ・ 漢字指導から親子関係を作る
- ・ 子供の心に「やる気」の灯りを点す言葉かけ

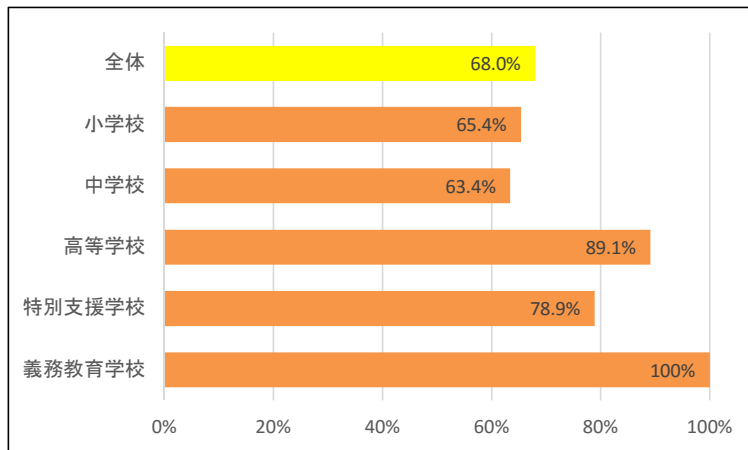
○その他

- ・ 人権意識の高揚について
- ・ ネットトラブルから子供たちを守るために
- ・ 情報モラル教育の推進
- ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」生活の見直し
- ・ 薬物から子供を守る
- ・ 読書活動の推進について
- ・ 憲法カフェ
- ・ 児童の歯科衛生について
- ・ 生徒とともに身近な男女共同参画を考える

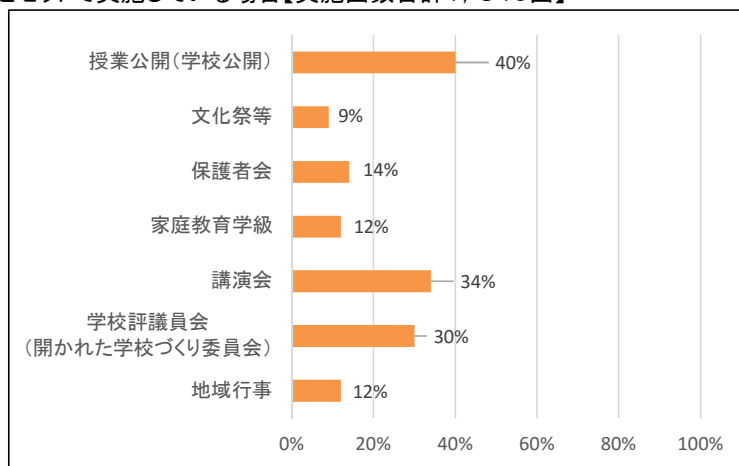
◇ミニ集会の成果や地域活動等に発展した例

- ・本校の教育活動について地域の理解が深まり、保護者・地域の意見から本校の課題が明らかになった。
- ・給食への理解が深まり、子どもたちの成長に『食』がいかに大切であるか認識が高まった。
- ・携帯、スマホ等の通信機器を子どもたちが安心して扱うために、家庭でも話し合おうという意識が高められた。
- ・いじめについて、参加者全員で子供のためにどうするかを真剣に考えることができた。
- ・ミニ集会の開催により、家庭・地域・学校が相互に連携協力する方法を話し合うことができた。
- ・今まで以上に地域の防犯意識が高まり、見守りを増やすため各町会でもさらに呼びかけてもらえることになった。
- ・子どもたちの健全育成に多くの地域の方々が関わってくださっていることを知り、地域との連携の大切さを再認識することができた。
- ・防災計画について確認し合うことができ、地域住民との体制づくりが進んだ。
- ・福祉教育を地域で推進していくための意見交換を行い、学校・保護者・地域が共通の認識をもつことができた。
- ・生活習慣の見直しが必要ということを長期休業前に保護者や地域住民と共通理解を図ることができた。
- ・子供の成長に関わる部活動の役割や成果について共通理解し、保護者の協力を得ることができた。
- ・小・中・高と地域が連携を深めながら、子ども達の育成を図っていこうという意識を高められた。
- ・命の重要性について、学校と家庭で共通理解することができた。
- ・地域の防犯や交通安全に対する意識が高まり、地域主催の自転車教室や防犯教室を学校と連携して実施することになった。

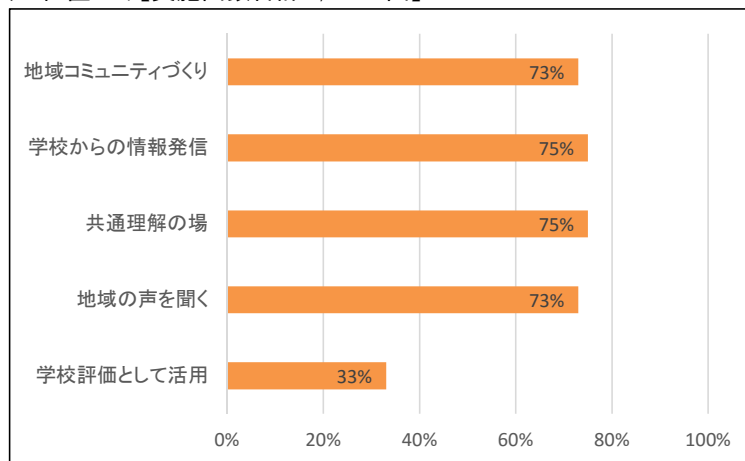
○開催校のうち、地域とともに企画運営している割合【実施回数合計1,340回】



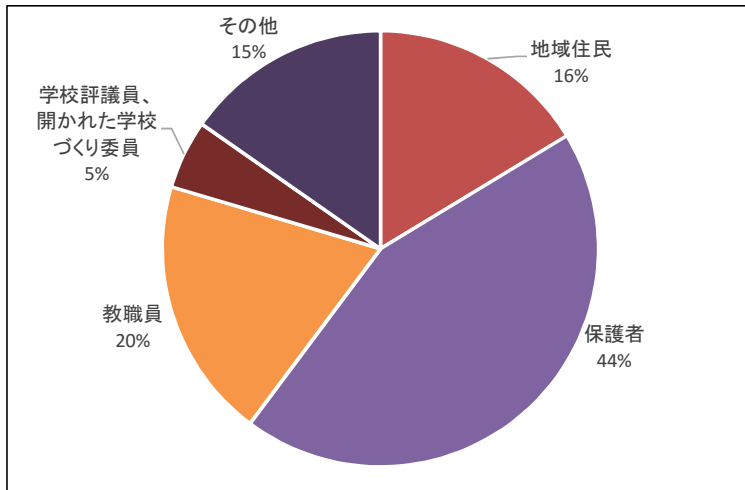
○他行事とセットで実施している場合【実施回数合計1,340回】



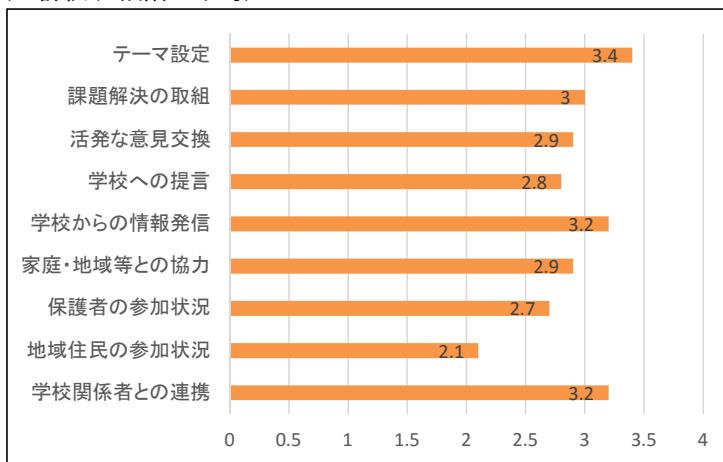
○ミニ集会の位置づけ【実施回数合計1,340回】



○参加者の割合【参加者合計72, 290人】



○ミニ集会の評価(4段階の平均)



○次年度の工夫・改善したい点

